REC News Letter

Ryukoku Extension Center ニューズレター

You, Unlimited

龍谷大学 RYUKOKU UNIVERSITY

No. 128 発行日：2018年1月25日

ご報告 「第 29 回　龍谷大学　新春技術講演会」を開催しました！

新春の恒例行事である新春技術講演会を、1 月 17 日（水）、びわ湖大津プリンスホテルにて開催しました。第 29 回目となる今回は、「伝統を究め、新たな未来へ」という統一テーマを掲げました。

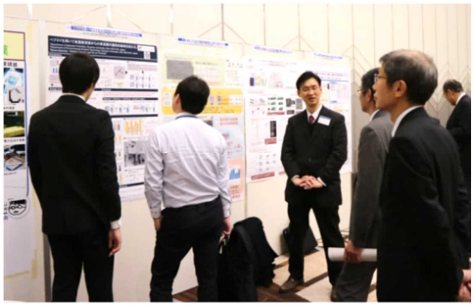
冒頭には、近畿経済産業局　地域経済部長の奥山　剛様よりご挨拶いただきました。続いて、新日鐵住金株式会社　常任顧問宮坂　明博様より、「未来を拓く鉄づくり－ナノレベルで特性を制御して、キロメートルでつくり込む－」と題して基調講演をいただきました。長い歴史を持つにもかかわらず、今なお大きな進化と発展を続けている「鉄」について、新日鐵住金が手がけてきた事業と共にご紹介いただきました。

講演会第 2 部では、理工学部数理情報学科の山岸義和准教授が「螺旋と敷き詰めの幾何学」と題して、また、本学理工学部環境ソリューション工学科の奥田哲士准教授が「「ごみ」って何？」と題して、さらに、本学農学部食品栄養学科の朝見祐也准教授が「蕎麦製麺加工の伝統的技法の物性論的解析」と題して、研究成果の一端を発表しました。

ポスターセッション会場では、REC による技術相談等も含め理工系を中心に 50 件程の本学における研究成果等の展示を行いました。懇親交流会では、新春の和やかな雰囲気のなか、参加者と交流を深めました。

総勢 280 名程の参加をいただき、盛況のうちに終了しました。





ご報告 栗東市×龍谷大学 第 15 回共生塾「地域で活躍する人材の育成について」を開催しました！

1 月 13 日（土）に栗東駅前のコミュニティセンター大宝東にて、第 15 回共生塾「地域で活躍する人材の育成について」を開催しました。今回の共生塾は、2017 年 7 月に本学と包括協定を締結した滋賀県栗東市と共催で実施しました。

2017 年 5 月 25 日に国会を通過した「地域包括ケアシステムの強化のための介護保険法等の一部を改正する法律案」により、今後の地域福祉のあり方が大きく変動していくと考えられており、実際に国が目指している「『我が事・丸ごと』地域共生社会」の内容を中心に、地域の方々と一緒に考えることができる場を提供しました。

今後の福祉全般では、地域住民の活動や民生委員・児童委員、保護司などの役割とともに、地域住民の主体的な取り組みが期待されています。一方、こうした中においても行政や福祉専門職の役割もきわめて重要であり、そうした関係者がいかに連携して進めていけるのかも重要なポイントです。

そこで今回の共生塾では、社会学部　岡野　英一　氏が「『我が事・丸ごと』と栗東市の地域福祉」と題して講演し、その後、実際に栗東市で活躍する方々に活動の事例報告を行っていただきました。

当日はたくさんの方にお越しいただき、地域の皆様と、地域福祉のあり方について一緒に考える良い機会となりました。



ご報告 REC コミュニティカレッジの絵手紙講座の受講生による「伏見巡って～新春展」を開催しました！

12 月 7 日（木）～1 月 18 日（木）の間、深草キャンパス紫光館 5 階のフロアにおいて、2017 年度後期 REC コミュニティカレッジ「絵手紙」講座の受講生による「伏見巡って～新春展」を開催しました。伏見の花や自然、今年の干支などをモチーフに、いきいきと描かれたカレンダーや年賀状、木製絵皿などを展示し、新しい年への抱負や願いが一緒に綴られていました。



ご報告　龍谷大学×大津市　地元企業と大学生との交流イベント「企業訪問報告会＆交流会」を開催しました！

1 月 15 日（月）、大津市 Otsu プロジェクト-W：地元企業と大学生のマッチング事業「地元企業と大学生との交流イベント「企業訪問報告会＆交流会」」を、瀬田キャンパス REC ホールにて開催しました。

今回はプロジェクト最後のイベントである「企業訪問報告＆交流会」の開催です。第 1 部の報告会では、全体発表として 2 社を取りあげ、実際に訪問した学生が報告をおこない、その後、グループに分かれて訪問した学生がそれぞれの企業の概要や特徴など、インタビュー調査した内容を発表しました。グループ内で発表内容を共有するとともに、学生、企業それぞれの視点から「働きやすい環境」「女性が活躍する環境」などをテーマに意見交換をしました。

企業訪問報告会後には、全体交流会を実施しました。参加した学生たちは訪問企業へのお礼やこれからの就職活動に対する相談などで積極的に企業の方と交流を深めている様子がみられました。

今回はプロジェクトに参画した学生以外の参加も募りました。参加した学生からは「大津市には魅力的な企業がたくさんあることが分かった」「このようなイベントをもっと実施して欲しい」「来年あればプロジェクトから参加したい」など積極的な意見が出されました。

※取りまとめた記事については、大津市女性活躍情報サイト「おおつチアリングポータル“Smile League”」に掲載する予定です。

ご報告　「滋賀県の日本酒を嗜む会」を開催しました！

1 月 16 日（火）、瀬田キャンパス9号館にて、滋賀県酒造組合、滋賀県中小企業団体中央会と連携し、「滋賀県の日本酒を嗜む会」を開催しました。瀬田キャンパスのある滋賀県には、質の高いお米と豊富な水資源を活かしながら日本酒作りを行う酒蔵が多く、日本酒づくりからみた滋賀県の歴史や文化について学ぶことを目的に開催しました。当日は、農学部の学生を中心に、また先生方にもお集まりいただきました。



はじめに、今回のイベントのコーディネートとして関わっていただいた農学部食品栄養学科の田辺公一先生からご挨拶いただき、続いて、滋賀県酒造組合　会長の　藤居　鐵也　氏（蔵元　藤居本家　七代目蔵元）に、「滋賀県の日本酒」について、お話いただきました。

日本酒の材料や製法などの加工について、食文化や化学的な話題も含めて、様々な観点から情報提供があり、お酒を楽しむための方法として、お酒を飲む時のマナーについてもお話いただきました。参加者から非常に好評で、もっとお話を聞きたいという意見が多くありました。その後、ご提供いただいた滋賀県内二十八の蔵元の日本酒を実際に飲む場として、琵琶マス巻、あゆ巻、丁字麩、赤こんにゃく、漬物等、滋賀県ならではの料理を準備し、交流会を行いました。講演会で聞いた内容を思い出しながら、「これはフルーティーだ」、「すっきりしているけど、後味が甘い」等、それぞれのお酒の味と香りの違いについて、活発な意見交換が行われました。

今回の「滋賀県の日本酒を嗜む会」をきっかけとして、さらなる滋賀県酒造組合、滋賀県中小企業団体中央会との連携の可能性を検討してまいります。

お知らせ　地域住民と学生がコラボ「第4回町家 de うどん」を開催します！！

本学が地域デビュープログラムとして開催している「第 4 回町家 de うどん」を開催します。

本イベントは、京都市と（公財）大学コンソーシアム京都が支援する『「学まち連携大学」促進事業』の一環として行う事業で、2016 年度からスタートし、第 4 回目を迎えます。今回も地域住民と本学の学生が、うどん作りを通じた多世代・多文化交流が行われることが期待されます。参加者募集は、学生向けにポータルサイトを通じて行います。

1. 開催日：　2018 年3月 24 日（土）10:00～14:00 予定
2. 開催場所：　龍谷大学深草町家キャンパス（京都市伏見区深草直違橋 6 丁目 303 番地）
3. 参加費：　無料

お知らせ　2 月の REC の活動

2 月 3･24 日（土）REC コミュニティカレッジ東京「親鸞の構想和讃を読むー善導大師ー」〈明治大学駿河台キャンパス〉
2 月　3 日（土）　龍谷ジュニアキャンパス「バスケットボール教室」〈深草キャンパス〉
2 月 10 日（土）　龍谷ジュニアキャンパス「バレーボール教室」〈深草キャンパス〉
2 月 17 日（土）　龍谷ジュニアキャンパス「陸上教室」〈瀬田キャンパス〉
2 月 18 日（日）　龍谷ジュニアキャンパス「フラッグフットボール教室」〈瀬田キャンパス〉
2 月 24 日（土）　びわ湖の日　滋賀県提携龍谷講座 in 大阪『琵琶湖と人の様々な関わり』〈大阪梅田キャンパス〉
2 月 26 日（月）　第 7 回　REC BIZ-NET 研究会
「環境工学における新しい試みースマートセンシング、リモートセンシングの環境分野への活用ー」

龍谷大学
RYUKOKU UNIVERSITY

REC News Letter
No.128

REC News Letter は毎月発行。
次回は 2 月 25 日頃発行します。
※バックナンバーは龍谷大学 HP→教職員向けサイト
→REC　京都サイトをご覧ください。

編集・発行：REC 事務部
http://rec.seta.ryukoku.ac.jp/

●REC 滋賀　REC ホール　（内線 7744）
●REC 京都　紫光館 5 階　（内線 6560）
●REC 東大阪　クリエイション・コア東大阪
産学連携オフィス 2212 号（06-6748-8228）